

糸我小学校だより

令和6年5月30日①



糸我小学校、伝統の遠足!!

先月のお話です。4月28日（金）、糸我小学校伝統の遠足を実施しました。山を越えて栖原海岸へ行く遠足です。当たり前のことですが、先生たちは、遠足のたびに事前に下見に行き、道の様子や獣捕獲のための罠も確認して、子供たちが安全に行けるかどうかを調べてくれます。

遠足は、「縦割り班」といって異学年（1～6年）混合の班を作って行きます。遠足に行くまでに、この縦割り班を使った活動をします。そこでメンバー紹介はもちろん、遠足のコース説明をしたり目標を決める話し合いをしたりします。これらの活動も、もちろん高学年の児童が中心となって進めてくれます。こういった経験を重ねることで高学年としての気持ちと態度が育っていきます。遠足当日も、高学年らしく低学年のことを考えて、歩く速さに気をつけたり、声かけをしたりしながら目的地を目指しました。帰りも同じ道を通って帰ってくるので、相当な距離を歩きましたが、全員元気に学校へ帰ってくることができました。低学年の子供たち、よく頑張りました。高学年の皆さん、お疲れ様でした。これからもよろしくお願いします。



集団下校

4月17日（水）に、集団下校訓練を行いました。集団下校訓練は、災害などの緊急時に、全児童が安全に帰宅できるとともに、災害に対する意識を高めることを目的に行っています。子供たちが帰宅する地区ごとに集まり、順に帰宅していきます。また、帰宅途中にある「きしゅう君の家」も確認しながら帰ります。ここでも高学年の子供たちが低学年の子供たちに危険箇所や注意事項を教えてくれるなど活躍しています。望まないことですが、登下校の途中で災害に遭うこともあります。そんなときも落ち着いて自分の身を自分で守れるよう、訓練を重ねていきたいと思ひます。



「新体力テスト」を実施しました

文部科学省が昭和39年から実施している「体力・運動能力調査」です。平成11年から内容が全面的に見直され「新体力テスト」となりました。新体力テストは、文部科学省が実施し、国民の体力・運動能力の現状を明らかにし、体育・スポーツ活動の指導と、行政上の基礎資料として広く活用されるものです。調査は「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横跳び」「立ち幅跳び」「20mシャトルラン」「50m走」「ボール投げ」の8種目の測定を行います。全国的に令和元年度から体力の低下傾向にあります。本校でも毎年行っていて、今年は5月10日(木)に実施し、子供たちが真剣に調査に臨みました。その結果データと全国のデータを比較し、子どもたちの弱点を見つけ、体力向上に取り組んでいきたいと思えます。



「体力アップ事業」の実施

これは有田市教育委員会が、子供たちの体力向上のために有田市内の全小学校において実施している事業で、今年は、九鬼巧さんが各小学校で授業をさせていただきます。系我小学校は、5月24日(金)に来ていただき、3~6年生の児童が「速く走るポイント」を教してもらいました。

終始、楽しい雰囲気の中、学習が進んでいきました。色んな体の動きがあり「速く走るポイント」をマスターしながら体力もアップしていきそうです。また、九鬼巧さんの走る速さやジャンプ力を目の当たりにし、子供たちから驚きの声があがっていました。



■九鬼 巧(くき たくみ)氏

有田市宮原町出身で、陸上男子100mの和歌山県記録保持者。
現在はNTN株式会社所属。
ロンドンオリンピック4×100メートルリレー代表。

租税教室(6年生)

5月23日(木)「租税教室」を実施しました。新井さん(湯浅納税協会専務理事)と平木さん(株式会社平木米穀店代表取締役)に来校いただき、税金について学習しました。

税金に関するクイズに答えたり、もし税金がなかったら日常生活はどのようになるのかをDVDで視聴したりしました。子供たちは、今日の学習を通して税金の大切さを理解することができたようです。また、税金の使い方を決める代表者は、私たちの投票で決まるなど、選挙の大切さも教えていただきました。最後に、一千万円の札束や1億円(見本)の入ったジュラルミンケースを持たせてもらい、重さを体感することもできました。



糸我小学校だより

令和6年5月30日②



今年も地域や糸我地区青少年育成会の方々のご協力をいただき、色々な学習が始まっています。こうして地域の方たちが笑顔で子供たちと話をしたり、作業をしたりしている姿を見るたびに地域ぐるみで子供たちを育てるんだという思いが感じられます。学校でもそういった地域の方の思いを大切にしながら、糸我の子供たちを育てていきたいと思えます。

『みかんの学習(3年生)』で摘蕾作業を体験しました!



3年生の「みかんの学習」では、毎年、宮本正弘さんのみかん畑で体験学習をさせていただいています。5月8日(水)は、3年生が「摘蕾(てきらい)」を体験させていただきました。「摘蕾」とは、蕾のうちに花を摘み取って、開花する花の数を減らす作業です。花の数を調整することで、木の栄養の消耗を防ぎ、実る果実を大きく、おいしく育てることができそうです。子供たちは宮本さんのお話を聞き、摘蕾作業に一生懸命取り組んでいました。

また、昨年学級園の近くに植樹した2本のみかんの苗木も元気に育っています。今年の3年生も、大きな植木鉢2つにそれぞれ苗木を1本ずつ植えました。宮本さんから教えていただいたことをもとに、しっかりお世話していきましょう。どちらもたくさん実を付けるようになるといいですね。



資源ゴミ回収のお手伝い(子どもクラブ)

5月11日(土)6年生の子供たちが、糸我子どもクラブ主催の資源ゴミ回収のお手伝いをしました。朝8時に集合して、地域の方が持ってきてくれた資源ゴミを受け取り、所定の場所に置くという作業をします。どんどん資源ゴミが持ち込まれ、どんどん受け取って運んでいきます。参加してくれた子供たちはどの子も一生懸命お手伝いしました。みんなの力になれて良かったですね。



『田んぼの学校』が開校しました!

今年も「田んぼの学校」の活動が始まりました。毎年、5年生の「総合的な学習の時間」に、田んぼの学校の校長先生である山崎佳彦さんをはじめ、糸我地区青少年育成会の方々からご指導・ご協力をいただき米作りを体験します。

5月7日(火)に、田植えの苗を育てるために種まきをしました。子供たちがまいた種は、今、芽を出し順調に育っています。6月10日(月)に「苗取り」をして、翌日の11日(火)に「田植え」を全校児童で行う予定です。



アイガモの孵化に挑戦!

アイガモ農法の主役であるアイガモは、卵から^{かえ}孵して田んぼに放鳥します。そこで、5月9日(木)に、学校に設置した孵卵器の中に、アイガモの卵を5年生の子供たちの手で入れました。今、子供たちは当番で孵卵器の温度や湿度を管理しながら孵化を楽しみにしています。

5月20日(月)には、検卵をしました。部屋を暗くして卵に電球の光を当てると、殻が透けて中で血管や動いている心臓が確認できました。子供たちは「すごい、動いている」等、喜びと感動を言葉にしていました。卵の孵化予定日は、6月4日(火)頃です。



今年も、糸我得生寺中将姫会式に参加

5月12日(日)に、糸我得生寺中将姫会式が執り行われました。この歴史ある伝統行事に、たくさんの子供たちが参加させていただきました。このような伝統的な行事にも参加し、糸我の歴史に興味をもち伝統を大切に受け継いでいってほしいと思います。

